



2022年5月13日

各 位

上場会社名 ニッパツ（日本発条株式会社）
 代表者名 代表取締役社長 茅本 隆司
 （コード番号：5991 東証プライム市場）
 問合せ先 企画管理本部 I R・広報部部長 橘 和子
 TEL 045-786-7513

特別損失（減損損失）の計上、連結実績の業績予想との差異、 個別実績の前期実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間におきまして、特別損失（固定資産の減損損失）を計上するとともに、2021年5月14日に開示した2022年3月期の通期連結業績予想、並びに個別実績の前期実績値と、本日公表の実績値との間に差異が生じたほか、剰余金の配当の決議を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（固定資産の減損損失）の計上について

2022年3月期第4四半期連結会計期間におきまして、当社及び連結子会社において固定資産の減損損失7,117百万円を特別損失として計上いたしました。減損損失の内訳は、以下のとおりです。

(1) 当社伊那工場における固定資産の減損

当社の伊那工場（精密ばねセグメント）等において、減損の兆候が認められたことから、3,475百万円を減損損失として計上いたしました。

(2) 北米及び欧州における固定資産の減損

当社の連結子会社であるNHK オブアメリカサスペンションコンポーネンツ社、ニューメーサーメタルス社及びNHK スプリングハンガリー社（いずれも懸架ばねセグメント）において、減損の兆候が認められたことから、3,006百万円を減損損失として計上いたしました。

(3) 国内における固定資産の減損

当社の連結子会社である東北日発（シートセグメント）等において、減損の兆候が認められたことから、635百万円を減損損失として計上いたしました。

2. 連結業績予想値との差異について

(1) 2022年3月期 連結業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	600,000	25,000	27,000	18,000	78.94
実績（B）	586,903	21,359	30,674	31,998	140.33
増減額（B-A）	△13,096	△3,640	3,674	13,998	
増減率（%）	△2.2%	△14.6%	13.6%	77.8%	
（参考）前期実績（2021年3月期）	572,639	10,463	14,533	9,396	40.45

(2) 差異の理由

上記1に記載いたしました特別損失の計上、2022年3月期第4四半期連結会計期間において円安が進行したことによる為替差益の計上、2022年3月9日付「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」にてお知らせしました特別利益の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は31,998百万円となりました。

3. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2022年3月期 個別業績の前期実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) (2021年3月期)	264,687	4,320	11,071	4,961	21.36
今期実績値 (B)	257,895	11,390	28,283	31,052	136.18
増減額 (B-A)	△6,791	7,069	17,212	26,090	
増減率 (%)	—	163.6%	155.5%	525.9%	

注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しており、個別業績の今期実績値の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 差異の理由

営業利益につきましては、自動車関連事業における半導体供給不足による受注数量の減少に対し、情報通信関連事業におけるHDD用サスペンション及び半導体プロセス部品の受注が好調に推移したことにより、11,390百万円となりました。

経常利益につきましては、関係会社からの受取配当金の増加、為替の変動に伴う為替差益の計上により、28,283百万円となりました。

当期純利益につきましては、上記1に記載いたしました当社における減損損失の計上、北米における固定資産減損損失の計上に伴う関係会社株式評価損を計上したものの、一方で2022年3月9日付「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」にてお知らせしました特別利益の計上により、当期純利益は31,052百万円となりました。

なお、関係会社からの受取配当金及び関係会社株式評価損は当社グループ内取引のため、連結業績への影響はございません。

4. 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は2022年6月28日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(1) 配当の内容

	決議内容	直近の配当予想 (2021年11月10日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	15円00銭	12円00銭	12円00銭
配当金総額	3,420百万円	—	2,736百万円
効力発生日	2022年6月29日	—	2021年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社では、株主の皆様への利益配当を最重要事項と認識し、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、安定的な配当の継続を基本としております。

これまで期末の配当予想を1株当たり12円としておりましたが、上記2に記載しましたとおり、2022年3月期の通期業績が増益となったこと等を総合的に勘案して、期末配当金につきましては、1株当たり15円を予定させていただきます。これにより、年間配当金は1株当たり27円となります。

以 上